

「安住の郷、日本一を創造する町 池田町」の実現を目指して

予算総額は109億9,000万円で1.7%増

みなさんの暮らしに深いつながりのある平成23年度予算が池田町議会第1回定例会で決まりました。

今年度予算編成にあたっては、経済状況の回復が見込めず、町税の歳入減など厳しい中、更に県の補助金等も削減が続く状況下ではありますが、まちづくりは人づくりを基本に対話のある町政・住民との協働のまちづくりを理念に、更に活力あるまちづくりを一層推進するため4年連続の増額予算となりました。また3期目のスタートとなる予算として、6つの安心施策（住める町、子育てができる町、お年寄りが暮らせる町、障がい者（児）が生活できる町、教育環境が整っている町、町政経営ができる町）を盛り込み、「安住の郷、日本一を創造する町 池田町」を目指す実行予算であります。また町債の発行を抑制するなど行政改革を進め、財政の健全化を進める内容となっています。

本年度の施策として、

○子育て支援対策事業

子育て世帯への経済支援では、乳幼児及び児童、生徒医療費支援を義務教育終了まで今年度も引き続き行い、病児・病後児保育事業などを実施して子育て支援を更に進めていきます。また、子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌のワクチン接種促進事業を行い予防事業を推進します。

○障がい者支援対策事業

特別支援学級の設置校に町単独の支援員を配置して、障がいのある児童・生徒が集団生活になじむよう自立援助などを行い、学校生活全般をサポートします。また今年度から、障がい児等が学校の下校後等に活動する場を確保すると共に、保護者の就労支援及び家族の負担軽減を図るためにタイムケア事業を実施します。

○高齢者支援対策事業

高齢者など交通手段のない住民のためにバスを購入し、コミュニティバスを運行します。また、長寿者褒賞事業、敬老会事業、老人クラブへの活動助成や養護老人ホームへの入所措置費等の事業とあわせて、介護サービス事業においては24時間対応の定期巡回・随時対応サービスを展開し、住み慣れた地域の在宅で安心して生活を継続していただけるように努めます。

○観光交流事業

池田山が2月に、県が認定する飛騨・美濃じまんの原石として選定されましたので、更に磨きをかけて池田山を中心とした、豊かな自然や眺望、池田温泉・今年度開駅する道の駅、山麓沿いの史跡や農産物などを観光資源として活用したいと考えています。また特産品などの開発も進めていきます。

○下水道整備事業

池田処理区は、今年度末には340.2ヘクタールが整備され、進捗率は農集を含めて65.2%となります。今年度は青柳、天神町、三和町、上町、東町、大池町、六之井の地域の管渠布設整備の推進と処理場の第3期増設工事に係る計画設計を行います。また、本年2月末現在で接続率は約60.2%の状況であり、公共ますへの接続を積極的にお願ひし、池田浄化センターの維持管理とあわせて下水道事業の健全経営に努めます。

これらの事業を中心に進めながら、重点化・効率化の考え方にふさわしい施策・事業や町民に応える必要な事業の早期実現を目指します。

今年度の予算規模

区 分	平成23年度予算	平成22年度予算	伸び率% (△減)
一般会計	72億6,000万円	70億5,000万円	3.0
特別会計	37億3,000万円	37億5,800万円	△0.7
国民健康保険	20億6,900万円	20億8,100万円	△0.6
老人保健	—	100万円	皆減
後期高齢者医療事業	1億9,800万円	1億9,500万円	1.5
北部簡易水道事業	7,700万円	7,700万円	0.0
南部簡易水道事業	6,500万円	6,500万円	0.0
農業集落排水事業	3億5,600万円	3億5,700万円	△0.3
公共下水道事業	6億9,200万円	7億600万円	△2.0
温泉施設	2億7,300万円	2億7,600万円	△1.1
予算総額	109億9,000万円	108億800万円	1.7
企業会計			
収益的収入	2億2,516万円	2億3,881万円	△5.7
収益的支出	1億8,364万円	1億8,895万円	△2.8
資本的収入	1,054万円	1億1,054万円	△90.5
資本的支出	2億7,938万円	2億7,610万円	1.2